

富保保発第5010号

令和4年2月14日

富士市議会議長 米 山 享 範 様

富 士 市 長 小長井 義 正

富士市教育長 森 田 嘉 幸

文書質問について（回答）

令和4年1月26日付け富議発第107号による文書質問について、下記並びに別添のとおり回答します。

記

1 富士市における本年1月以降の新型コロナ陽性者の内訳はいかがか。（年代別、ワクチン接種回数別、症状別）について

新型コロナウイルス陽性者の内訳については、静岡県が「新型コロナウイルス感染症県内感染動向」に関するデータを公表しており、令和4年1月以降で患者居住地が富士市となっているデータは、別紙1のとおりです。

なお、ワクチン接種回数別や症状別のデータについては公表されておらず、市としては把握していませんので、ご承知おきください。

2 教育委員会としては、市内小中学校における児童・生徒の1月以降の新型コロナ陽性者の内訳をどう把握しているか。（小中学生別、ワクチン接種回数別、症状別）について

教育委員会で把握している項目は、陽性者数と症状別内訳の内、軽症と無症状数のみで、令和4年1月以降、2月10日までの件数は、別紙2のとおりです。

3 第5波のデルタ株まで（ウイルスが肺に到達し重症化）と、第6波のオミクロン株（従来タイプの旧型コロナ＝普通の風邪）で違いを指摘する医療関係者がいるが、富士市としてはどう考えるか。について

議員ご指摘の「オミクロン株＝普通の風邪」とする見解については、新型コロナウイルス感染症に係る専門家からの意見の1つであることは承知しています。

しかしながら、発生以降、幾つかの感染の波はあるものの終息する兆しを見せず、変異を繰り返しながら現在に至っている新型コロナウイルス感染症については、いまだその全容が解明されていないため、決して予断を許さないものと考えています。

また、現時点では感染症法上の位置づけも新型インフルエンザ等感染症として2類相当の対応が維持されている以上、季節性インフルエンザなどと同等の扱いはできないものと認識しています。

なお、新型コロナウイルス感染症対策の実施に当たり、政府が示している「基本的対処方針」によれば、オミクロン株については、デルタ株に比べ潜伏期間等の短縮、二次感染リスクや再感染リスクの増大が確認されており、感染拡大のスピードが極めて速く、まず軽症者の数が急激に増加し、併せて中等症者も一定程度増加し、その後高齢者に伝播し、重症者数、入院者数も増え、医療全体がひっ迫し、さらに社会機能の維持も困難になることが懸念されています。

また、デルタ株と比較してオミクロン株では重症化しにくい可能性が示唆されていますが、重症化リスクがある程度低下していたとしても、感染数が大幅に増加することで重症化リスクの低下分が相殺される可能性も考慮する必要があるとされているため、感染拡大の動向について注視していく必要があると考えています。

4 3回目のワクチン接種を開始しようとしているが、ワクチン製造メーカー（ファイザー社、モデルナ社）は、オミクロン株用の新たなワクチンを開発していると聞く。

今回（3回目）使用するワクチンは2回目までと同じものか、あるいは異なるものか。

同じものである場合、富士市としてはその効果と影響をどう評価しているのか。について

追加（3回目）接種で使用する新型コロナウイルスワクチンについては、現時点においてファイザー社及び武田／モデルナ社のワクチンを使用することとなっており、両社のワクチンとも初回（1回目・2回目）接種で使用したワクチンと同じものとなっています。

変異ウイルスのオミクロン株に対応したワクチンについては、ファイザー社とモデルナ社が、臨床試験を開始したと発表したことが伝えられていますが、詳細についての情報は把握していません。

新型コロナワクチンについては、新型コロナウイルス感染症のまん延防止のため、令和3年2月から接種が進められているところですが、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、追加接種を行う必要があり、初回接種を完了した全ての者に対して追加接種の機会を提供することが妥当である、との見解が示され実施されることになりました。

また、オミクロン株に対する追加接種の効果についても、国は、デルタ株に対する効果と比

較して低下するものの、追加接種を受けることにより、発症予防効果、入院予防効果いずれについても回復するとしています。

しかしながら、その効果は100%ではないため、引き続き感染予防対策を継続していく必要があります。

今般、国からは、追加接種を速やかに実施することの指示が出されています。

また、市内においても、現在オミクロン株による感染が急拡大しており、市民の皆様が感染し、重症化することのないよう、本市としても、初回接種と同様に、富士市医師会・富士市薬剤師会などの関連団体や、医療従事者の皆様と連携し、追加接種を速やかに行っていきます。

●市内新型コロナ陽性者数（年代別区分） ※令和4年1月5日（水）～2月10日（木）

別紙1

年代別	件数	割合
10歳未満	98	4.4%
10代	163	7.4%
未成年者	355	16.0%
20代	275	12.4%
30代	241	10.9%
40代	262	11.8%
50代	170	7.7%
60代	136	6.1%
70代	77	3.5%
80代	41	1.9%
90代	20	0.9%
100代	5	0.2%
高齢でない成人	265	12.0%
高齢者	107	4.8%
計	2,215	100%

※「ふじのくにオープンデータカタログ」内の「新型コロナウイルス感染症県内感染動向」より抽出。（令和4年2月10日時点）
各陽性者の年代については、公表時点のもの。

